入学願書・調査書記入上の留意事項

令和８年１１月
宮城県立山元支援学校

《入学願書》

１　入学願書は本人及び保護者（保証人）が記入する。ただし、本人が記入できない場合は、保護者（保証人）が記入する。
２　氏名等については、戸籍の原本どおりに記入する。
３　保護者又は保証人欄は、生徒に対して親権を行う者を、親権を行う者がいないときは後見人を記入する。
４　特別支援学級種別は知的、情緒、病弱等と書く。
５　保護者又は保証人の現住所は、志願者本人と同じ場合は「本人に同じ」と記入する。
６　出身学校欄の「平成・令和」及び「卒業見込・卒業」については、該当する方の文字を○で囲む。
７　誤記を訂正する際は、黒二重線を引いて訂正する(訂正印なし)。

《調査書》

◆記入上の全般的留意事項

１　調査書には令和８年１１月３０日までの事項を記入する。
２　数字は、すべて算用数字を用いる。
３　誤記を訂正する際は、黒二重線を引いて訂正する(訂正印なし)。
４　該当する事項がない欄は左上から右下へ斜線を引く。
５　「有・無」については、該当する方の文字を○で囲む。

◆各欄記入上の留意事項

１「志願者」の欄について

（１）中学校在学(出身)者所属学級の欄は、特別支援学級・通常学級のどちらか該当する方の文字を○で囲む。特別支援学級在籍の場合は、その障害種を明記する。山元支援学校卒業又は卒業見込の者については、記載なしでよい。

２「障害の状況」の欄について

（１）「障害名」は、「知的障害」と記入する。ほかに併せ有する障害名（学校教育法第22条の3で示されている視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱）がある場合には、併記する。
（２）「診断名等」は、「自閉症」､「ダウン症候群」､「てんかん」等の診断があれば記入する。
（３）「検査の記録」の欄は､できるだけ新しいものについて記入する(２年以内の記録が望ましい)。療育手帳の発行・更新時などに外部の専門機関で検査した結果を記入する。不明な場合や未実施の場合は「検査名」の欄に「なし」と記入する。
（４）療育手帳については、ＡかＢのあてはまるものを○で囲む。また、次回の更新年月も記入する（平成、令和の元号は手帳記載のとおりに記入する）。

３「出欠の記録」の欄は、欠席日数と事由について

（１） 学校保健安全法施行規則による出席停止及び忌引きの日数並びにその事由は記入不要。
（２） 欠席の欄に欠席日数を算用数字で記入する。事由の欄に「病欠○日、事故欠○日」などと内訳を記入する。内訳の書き方の詳細は、中学校(中学部)での書き方にならう。
（３） 欠席日数が30日以上の場合は「指導上参考となる諸事項」にその主な理由などを記入する。

４「家庭環境・家庭の教育に寄せる関心」の欄は、家庭環境、学校教育への親の願い、卒業後の進路についての本人・保護者の希望、学校行事や面談等への参加の様子など簡潔に記入する。

５「学習の記録」の欄は、第３学年の学習の状況について、身に付けていること、現在取り組んでいることについて簡潔に記入する。

6「現在の状況」の欄について

（１）〈基本的な生活習慣・身辺自立の程度〉

・食事、排せつ、衣服の着脱、睡眠などについて簡潔に記入する。

（２）〈運動能力〉

・姿勢の保持、移動、上下肢の動き、歩・走・跳、ボール運動、器械運動などについて簡潔に記入する。

（３）〈手指機能〉

・利き手、握る・つまむ・しぼるなどの動作、手先の器用さ(はさみ、箸など)、協調動作などについて簡潔に記入する。

（４）〈言語理解〉

・呼名、呼び掛け、問い掛けなどに対する反応、指示理解、意思表示などについて簡潔に記入する。

（５）〈社会性〉

・友達や教師との関わり、集団参加などについて簡潔に記入する。

（６）〈健康面で配慮しなければならないこと〉

・「体育の授業(マット運動)で前転をしないようにする」など、学校生活に制限があれば記入する。

（７）〈性格や行動の特徴〉

・性格(明朗、温厚等)、情緒の安定、こだわり、興味・関心、趣味や特技など簡潔に記入する。

7「指導上参考となる諸事項」の欄は、学習に向かう姿勢や日頃の学習状況、学校内外におけるスポーツ活動・文化活動・社会活動・ボランティア活動、長期欠席の理由やその状況、その他指導上参考となる事項について記入する。

《その他》

・調査書は、本校ホームページよりダウンロードし、Ａ４両面印刷で作成して提出すること。

山元支援学校ホームページ　https://yamayou.myswan.ed.jp